

**まつやま市民映画**  
「ゆだまのきもち」

映画のワンシーン

第35回まつやま市民シンポジウム  
温故知新 ～つなげよう まつやまの未来へ～

「ゆだまのきもち」は、松山青年会議所 <http://www.matsuyama-jc.or.jp/> で公開中。

二次元コード

トークセッションの様子

初代道後湯之町町長  
伊佐庭 如矢

市民投票の様子

上映の様子

松山少年少女合唱団によるオープニング「ええよね〜松山」

基調講演をする  
早見さん

## 温故知新

つなげよう まつやまの未来へ  
第35回まつやま市民シンポジウム開催

保存してください。いつかまた お役に立ちます

多くの人に見てもらいたい

まつやま市民映画  
監督 田村英明さん

傷を抱えて松山にやって来た主人公たちが、道後の人々との交流を通して癒されていくストーリーです。白鷺が温泉で傷を癒し飛び立った伝説とも重なるイメージです。ぜひ多くの人に見ていただきたいです。

映画を通して地域の活性化に関わりたい

まつやま市民映画  
助監督 市川ひなみさん

中学生のときにスタッフとして参加した経験から、今回、助監督を希望しました。撮影は大変でしたが、これからも、映画を通して地域の活性化に関わるような活動をしていきたいです。

基調講演では「デブ猫ちゃんの野望。当事者を探しています。」と題して、2016年に本市に移住した作家の早見和真さんが講演。執筆活動のほかラジオ出演などで活躍されている早見さんは、「現代の人が自分たちのまちを共有できる物語を作りたい」と考えた。みんなの物語と感ぜてもらえる作品になればうれしい」と、現在地元新聞に連載中の創作童話について話しました。

続いて、「まつやまの未来のために」をテーマに、来年1月から保存修理工事が開始される道後温泉本館の魅力や道後地域を盛り上げる方法について、トーク

セッションが行われ、アイデアを出し合いました。また、今年4月から出演者やスタッフなどを市民から公募し、約半年をかけて制作したまつやま市民映画第2弾「ゆだまのきもち」の上映会も行われました。

会場ロビーでは、市制施行130周年記念事業「130」でつむぐ松山の公募に寄せられた「ことば部門」「はがき部門」の作品1262点のうち24点が掲示され、来場した市民の皆さんの参加で、最優秀賞などを決める投票も行われました。

企画戦略課 ☎948 6213  
FAX 934 1804

**主な内容**

- 第一和泉団地 新規入居者募集……………2面
- 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉・花園町通りがグッドデザイン賞をダブル受賞……………3面
- 人事行政の運営状況を公表……………4面
- 市民ガイド……………7～11面

発行：松山市役所  
編集：総合政策部シティプロモーション推進課  
毎月1日・15日発行  
☎948-6705 FAX934-2578  
<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

桶募金箱と立札

藤岡抱玉先生揮毫の書

**「桶募金」を開始しました**

道後温泉本館は平成31年1月15日(火)から、保存修理工事に着手する予定です。市では、この取り組みを、多くの人に知っていただくため、10月13日から「桶募金」を始めます。

桶募金は、広島東洋カープのファンが募金活動を行い、球団の危機を救った「樽募金」にヒントを得て、本館で実際に使用されている「風呂桶」と「風呂椅子」を約3倍の大きさと再現。立札には保存修理工事の紹介と思いをつづっています。

立札の書は旭日双光章を受章されるなど、愛媛を代表する書家の藤岡抱玉先生に揮毫いただきました。

桶募金は、広島東洋カープのファンが募金活動を行い、球団の危機を救った「樽募金」にヒントを得て、本館で実際に使用されている「風呂桶」と「風呂椅子」を約3倍の大きさと再現。立札には保存修理工事の紹介と思いをつづっています。

立札の書は旭日双光章を受章されるなど、愛媛を代表する書家の藤岡抱玉先生に揮毫いただきました。

道後温泉本館を次代に継承するため、保存修理工事へのご支援とご理解をよろしく願っています。

受付時間 6時30分～22時30分(年中無休)

☎道後温泉事務所 ☎921 0101・FAX 934 3415